



# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 日本フィルハーモニー交響楽団

第720回 東京定期演奏会

サントリーホール

2020年5月15日(金)

19:00 開演(18:20 開場)

2020年5月16日(土)

14:00 開演(13:30 開場)

本日の聴きどころ<プレトーク>  
13:10 開始(13:00 開場)

7:00p.m. May 15th (Fri.) &  
2:00p.m. 16th (Sat.), 2020,  
at Suntory Hall

指揮:アレクサンドル・ラザレフ[桂冠指揮者兼芸術顧問]  
Conductor: Alexander LAZAREV, Conductor Laureate  
©山口 敦

## ラザレフ、ボリショイの魂が ついに満を持して取り組むロシアン・オペラ!

ラフマニノフ:

### ピアノ協奏曲第1番 嬰へ短調

Sergei RACHMANINOV:  
Concerto for Piano and Orchestra No.1 in f-sharp minor

### 歌劇《アレコ》(演奏会形式/字幕付) "Aleko"



ピアノ:小川 典子  
Piano: OGAWA Noriko  
©S\_Mitsuta



アレコ:  
ニコライ・エフレーモフ  
Aleko: Nikolay EFREMOV



若いジプシー:大槻 孝志  
Young Gypsy:  
OTSUKI Takashi



ゼムフィーラ:安藤 赴美子  
Zemfira: ANDO Fumiko  
©Shingo Azumaya



老人:妻屋 秀利  
An old man:  
TSUMAYA Hidetaku



ジプシーの老女:山下 牧子  
Gypsy woman:  
YAMASHITA Makiko



合唱:東京音楽大学  
Chorus:Tokyo College of Music

# Alexander LAZAREV, Sergei RACHMANINOV

|   |              |  |   |
|---|--------------|--|---|
| <p>■ 料金 (消費税込み)</p> <p>S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000<br/>C 完売 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500</p> <p>※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。<br/>※未就学児の入場はご遠慮ください。<br/>※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。<br/>※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。<br/>※車いすで来場予定のお客様は、当日のスムースなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。</p> | <p>好評発売中</p> | <p>■ お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター</p> <p>[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) [FAX] 03-5378-6161 (24時間)<br/>Webサイト[席を選んでお申込みできます] <a href="http://www.japanphil.or.jp">www.japanphil.or.jp</a></p> <p>▶ チケットぴあ … (0570) 02-9999 <a href="http://pia.jp/t/japanphil">http://pia.jp/t/japanphil</a> Pコード: 148-932<br/>▶ e+【イープラス】 … <a href="http://eplus.jp/">http://eplus.jp/</a><br/>▶ ローソンチケット … (0570) 000-407 (オペレーター) <a href="http://l-tike.com">http://l-tike.com</a> Lコード: 35083<br/>▶ サントリーホールチケットセンター … 0570-55-0017</p> | <p>託児サービス<br/>(事前申込制・有料)</p> <p>イベント託児®<br/>マザーズ<br/>TEL 0120-788-222<br/>(平日10時~17時)</p> |
|---|--------------|--|---|

# ボリショイ劇場の黄金期を築いた 名将ラザレフで聴く、 ラフマニノフの若き日のオペラ《アレコ》

19年5月定期の《カヴァレリア・ルスティカーナ》に引き続き、今回も桂冠指揮者兼芸術顧問のラザレフとはオペラに取り組みます。しかも満を持してついにロシア物です！既に交響曲ツィクルスで名演を残しているラフマニノフによる歌劇《アレコ》。この作品はラフマニノフ自身のモスクワ音楽院卒業作品として1892年に作曲されました。プーシキン原作のこの物語は、美しい娘に惚れた若い貴族アレコが、浮気をした娘と相手の男を殺してしまう悲劇です。女性を巡る男の嫉妬から巻き起こる悲劇と言う点、また演奏時間が約1時間という所が、実は《カヴァレリア・ルスティカーナ》とリンクしています。かつてはボリショイ劇場の「主」だったラザレフの真髓を改めてご披露します。

## 東京定期土曜限定プレトーク 「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

- 13:00 プレトーク開始
- 13:10 プレトーク開始 / 山野 雄大氏  
(1階席1列～14列でお聞きください)
- 13:25 プレトーク終了
- 13:30 一般開場
- 14:00 開演

## アレクサンドル・ラザレフ

[桂冠指揮者兼芸術顧問]

Conductor: Alexander LAZAREV, Conductor Laureate

ロシアを代表する指揮者の一人。2016年9月より桂冠指揮者兼芸術顧問。2008年9月から8年にわたり日本フィル首席指揮者を務め、3年に渡る「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」では、徹底したリハーサルで演奏水準を引き上げ、「ラザレフ効果」と評された。2011年9月から「ラザレフが刻むロシアの魂」をスタート。ラフマニノフ、スクリャーピン、ショスタコーヴィチに続き、現在は「Season IV グラスノフ」を展開中。2018年の第700回東京定期演奏会ではストラヴィンスキーの「ペルセフォース」を日本初演。

モスクワ音楽院でL.ギンスブルグに師事、同音楽院を首席で卒業。数々のコンクールを制し、1987年から1995年にかけてボリショイ劇場の首席指揮者兼芸術監督を務め、黄金時代を築いた。



©山口 敬

## ゼムフィーラ 安藤 赴美子 (ソプラノ)

Zemfira: ANDO Fumiko

札幌市出身。国立音楽大学・同大学院、新国立劇場オペラ研修所を経てイタリアで研鑽を積む。《ラ・ボエーム》ムゼッタ、《椿姫》ヴィオレッタ、《カルメン》ミカエラ、《タンホイザー》エリーザベト、《ナブッコ》アンナ、《蝶々夫人》蝶々さん、《神々の黄昏》グートルレーネ等、多くのオペラ作品の重要な役を担う。N響「第九」、マラー「復活」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」など、オーケストラとの共演レパートリーも幅広い。2017年2月の新国立劇場「蝶々夫人」での卓越した演目は、批評家と聴衆双方より賞賛を受ける。多彩で細やかな表現と品格ある演唱で注目を浴びる大型ソプラノ。

## 老人 妻屋 秀和 (バス)

An old man: TSUMAYA Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ミラノに留学後、ライプツィヒ歌劇場及びワイマールドイツ国民劇場の専属歌手を務めたほか、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、プレゲンツ湖上音楽祭等に出演。国内でも新国立劇場、二期会をはじめ多くの劇場で活躍を重ねる。出演したオペラは60余作、演じた役は80役、公演数は900を超える。コンサートでも宗教曲等のソリストとして、またマスタークラス等の教育活動にも取り組んでいる。第24回シローオペラ賞、第3回ロシア歌曲賞受賞。ライプツィヒ在住。二期会会員

## ジプシーの老女 山下 牧子 (メゾ・ソプラノ)

Gypsy woman: YAMASHITA Makiko

広島大学教育学部を経て東京藝術大学大学院に学ぶ。オペラでは《カルメン》タイトルロール、《リゴレット》マッダレーナ、《サロメ》ヘロディアスの他、近年では二期会《トリスタンとイゾルテ》ブランゲーネ、新国立劇場《蝶々夫人》ススキで好評を博している。また、堅実なテクニクに裏付けされた端正な歌唱はコンサートでも高く評価され、A.パッティスターニ指揮ヴェルディ「レクイエム」、ジョン・ミンファン指揮ロッシニ「スタースター・マーテル」等、著名指揮者との共演も多い。第1回東京音楽コンクール声楽部門第1位。二期会会員

## 東京音楽大学 合唱

Chorus: Tokyo College of Music

長い歴史に培われた東京音楽大学合唱団は、1979年以来毎年続いている日本フィルハーモニー交響楽団との「第九」をはじめとし、国内外のオーケストラと数多く共演している。2017年、全国共同制作プロジェクト「歌劇《蝶々夫人》全5公演のうち、東京芸術劇場コンサートホールにて行われた最終2公演（ミハエル・バルク指揮、読売日本交響楽団）に出演し、合唱と演技力も高い評価を得た。2018年、サンクトペテルブルクフィルハーモニー交響楽団（プロコフィエフ：イワン雷帝）と共演し好評を博した。合唱指導は、阿部純、藤村充正、浅井隆仁の各氏。

## 小川 典子 ピアノ

Piano: OGAWA Noriko

英国と日本を拠点に世界各国へ演奏旅行を行う他、国際コンクール審査、マスタークラスなど広範囲な活動を展開中。英ギルドホール音楽院教授、東京音楽大学特任教授、第10回浜松国際ピアノコンクール審査委員長、国際音楽コンクール世界連盟役員理事、ミュンヘン・ザクセン・ホール・バイザー、「ジェイミーのコンサート」主宰、NAS 英国自閉症協会文化大使。2017年にはこれまでの貢献をたたえて英国ギルドホール音楽院より「フェロー」の称号が授与された。小川典子オフィシャル・ホームページ <http://www.norikoogawa.com/>

## アレコ ニコライ・エフレーモフ (バリトン)

Aleko: Nikolay EFREMOV

モスクワ生まれ。モスクワ音楽院卒業。2012年ボリショイ歌劇場にラザレフ指揮によるチャイコフスキー《チャロテカ》ニキータ・クチャテフ王子役でデビュー。2014年アン・デア・ウィーン劇場、2015年レンヌ歌劇場、2017年マリンスキー沿海州劇場等に出演。また2016年にはシクティフカル歌劇場の英国ツアーにも同行。数々の国内外のオーケストラと共演している。レパートリーは、《椿姫》ジョルジョ・ジェルモン、《ラ・ボエーム》マルチェロ、《エフゲニー・オネーギン》オネーギン、《イオランタ》イブンはハキア、《道化師》トニオ、《カルメン》エスカミーリョなど。

## 若いジプシー 大槻 孝志 (テノール)

Young Gypsy: OTSUKI Takashi

東京藝術大学卒業、同大学院修了後、ドイツ及びイタリアにて研鑽を積む。ノルトハウゼン歌劇場管弦楽団来日公演《アイーダ》にて名歌手F.コソットらと共演以降、新国立劇場、サイトウ・キネン・フェスティバル松本のほか、二期会《エフゲニー・オネーギン》レンスキー、日生劇場《後宮からの逃走》ペドリッロ、同《ルサルカ》王子等を演じる。2019年には二期会《サロメ》ナラポートに出演。コンサートでも「第九」をはじめ宗教曲等のソリストとして高い評価を得ており、指揮者からの信頼も厚い。男声ユニット《IL DEVU》メンバー。二期会会員

## 次回 第721回東京定期演奏会

サントリーホール

### プログラム

指揮：ピエタリ・インキネン [首席指揮者]

【ベートーヴェン生誕250年Vol.5】

ドヴォルジャーク：序曲《フス教徒》op.67 B.132

ベートーヴェン：交響曲第2番 二長調 op.36、交響曲第5番 八短調 op.67《運命》



料金（消費税込み） 2019年12月12日（木）発売

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 売空 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

2020 6.5 (金) 19:00開演 6.6 (土) 14:00開演



©堀田 丸丸

指揮：ピエタリ・インキネン  
[首席指揮者]